

デロイト トーマツ テレワークセンター株式会社

貸借対照表

2023/5/31 現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	559,313	流動負債	182,002
現金及び預金	185,791	未払金	70,564
売掛金	316,558	未払費用	9,375
前払費用	41,281	未払法人税等	70,788
未収入金	17,348	未払消費税等	8,039
立替金	78	預り金	23,079
貸倒引当金	▲1,744	その他	154
固定資産	82,832	負債合計	182,002
有形固定資産	31,970	純資産の部	
建物	9,802	株主資本	460,143
建物附属設備	1,937	資本金	50,700
工具、器具及び備品	5,955	利益剰余金	409,443
土地	14,275	利益準備金	10,102
無形固定資産	74	その他利益剰余金	399,341
電話加入権	74	研究開発準備金	1,000
		繰越利益剰余金	398,341
投資その他の資産	50,787	純資産合計	460,143
敷金	31,153	負債及び純資産合計	642,146
長期貸付金	11,148		
長期前払費用	245		
繰延税金資産	8,170		
差入保証金	70		
資産合計	642,146		

(注1):千円未満は切捨てにより作成しています。

(注2):当期純利益 175,575 千円

個別注記表

自 2022/6/1
至 2023/5/31

I 重要な会計方針

1. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産
・・・ 定率法又は旧定率法

(ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）は旧定額法、2007年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）は定額法を採用しております。）

2. 引当金の計上基準

- (1) 貸倒引当金

売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

3. 収益及び費用の計上基準

主要業務であるコールセンター業務について、当該業務の提供に応じて、一定の期間にわたり履行義務が充足される取引と判断しており、履行義務の充足に係る進捗を見積り、当該進捗に基づき収益を一定の期間にわたり認識しております。

また、作業報告書の承認時等の一定時点で履行義務が充足される取引については、当該時点で収益を認識しております。

II 株主資本等変動計算書に関する注記

1 発行済株式の数に関する事項

株式の種類	普通株式
発行済株式数	1,000株

2 配当に関する事項

① 配当金支払額

- | | | |
|----------|------------|--------|
| ・ 決議 | 2023年5月22日 | 臨時株主総会 |
| ・ 配当金の総額 | 100,000千円 | |
| ・ 配当の原資 | 利益剰余金 | |
| ・ 基準日 | 2022/5/31 | |
| ・ 効力発生日 | 2023/5/31 | |

III 収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。